

平成30年(2018年)4月17日(火曜日)

世界水遺産登録を報告

三島・源兵衛川関係者、知事に

三島市の市街地を流れる源兵衛川の管理・再生システムが世界水会議(WWC、本部・フランス)の主権する



源兵衛川の世界水遺産登録を報告する関係者
=16日午後、県庁

世界水遺産に登録されたことを受け、登録を申請した中郷用木土地改良区とNPO法人グランドワーク三島の関係者が16日、県庁を訪れて川勝平太知事に

報告した。

訪問したのは、同改良区の白井幸太郎理事長や同法人の小松幸子理事長、渡辺豊博専務理事ら。白井理事長は「市民とともにさらに源兵衛川を磨き上げて宝にしたい」と喜びを語り、渡辺専務理事は「次は水資源として世

界文化遺産を目指したい」と目標を掲げた。これに対し川勝知事は「(世界文化遺産登録を目指すのは)誠に大事なことで、同じ富士山の水として柿田川も(登録の対象に)入れて問口を広げていただければ」と述べた。

知事「建物建てるを取り返しつかない」

三島駅南口再開発

川勝平太知事は16日、タワー型マンションの整備を含む三島駅南口東街区の再開発事業について「一回、(マンションなどを)建てると取り返しがつかない」と述べ、あらためて否定的な考えを示した。

三島市を流れる源兵

衛川の管理・再生システムの世界水遺産登録を報告するため、県庁を訪れたNPO法人グランドワーク三島の関係者らとの懇談で発言した。知事は、同NPOの渡辺豊博専務理事が地下水枯渇の可能性などを理由に再開発事業に反対していることを踏まえ「地下水を台無しにするのはしてはならない」とも述べた。